

令和4年度進捗状況に対する委員意見に関わる今後の町対応について

No.	事業番号	基本目標 基本施策	事業名	意見	今後の町対応	担当課
1	2	1-2-①	里山再生育成事業	里山再生育成事業の事業用地（田んぼ）付近にホテルが生息していることから、周辺のホテルの生息環境も併せた里山の維持管理を検討してはいかがでしょうか。	里山再生育成事業の事業用地（田んぼ）は管理に多大な負担を要しており、一定程度の範囲管理を必要とするホテルの生息環境整備を併せて実施することは難しいと考えます。	産業振興課
2	17	1-4-④	湘南にのみや海岸530キャンペーンの実施	湘南にのみや海岸530キャンペーンでの回収ごみの約6割がプラスチックごみだったことを鑑み、プラスチックごみの抑制についてさらなる啓発を推進するべきだと考えます。	町広報紙や町ホームページによる啓発を継続実施していくほか、町イベント時においてパネル展示やチラシ配布などを積極的に実施していくなど、あらゆる広報媒体や広報機会を有効活用しながら広く町民周知していくことにより、プラスチックごみの更なる発生抑制が図られるよう努めていきます。	生活環境課
3	30	2-3-①	ごみの適正な処理・処分の推進	二宮町一般廃棄物処理基本計画の3つの計画目標のうち、現状、未達成である資源化率の対応策が、啓発のみでは不十分だと考えます。	効果的な啓発手法の検討をするとともに、プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律による資源化処理品目の拡大を検討するほか、資源化率を相対的に上げることにつながるごみ減量化策についても引き続き実施していきます。	生活環境課
4	31	2-3-②	ごみ置場散乱防止対策事業(カラスネット配布)	ごみ置場散乱防止対策について、河川への流入を介したプラスチックごみによる海洋汚染を防ぐよう、カラスネットの優良活用事例やごみ置場の適切な利用等について更なる周知をするべきだと考えます。	具体的なカラスネットの優良活用事例やごみ置場の適切な利用方法を町広報紙や町ホームページなどで紹介するなどし、ごみ置場で散乱してしまったごみなどが河川へ流入していかないように、適宜対策を講じていきます。	生活環境課
5	43	3-1(2)-⑤	駅前駐輪場の運営(利用者の利便性向上)	駅前駐輪場の運営は、環境負荷の少ない交通手段（自転車）の利用促進を図るための取り組みであるため、指標に原付バイクを含めるべきではないと考えます。	駅前駐輪場の延べ台数（95,632台）のうち、自転車利用台数は83,175台でした。 今後は、増加傾向にある電動アシスト付き自転車の普及に向けた駐輪場の整備のほか、駐輪場内外での啓発活動（掲示物など）を行っていきます。	防災安全課